

名城大学

障害学生支援体制構築のための組織マネジメントについて

目的

平成 19 年度後期に名城大学に在籍する聴覚障害学生への情報保障を行いました。それを実現するためには教職員、同級生という、それぞれ個人への働きかけや、学部側組織と事業側組織を動かすためのマネジメントを行う必要がありました。本来ならばコーディネータを配置する必要があることや、支援拠点が重要であること等、大学経営戦略の中での取り組みを紹介し、初めて聴覚障害学生を支援する大学や支援経験の少ない大学に対して情報提供を行いたいと思います。

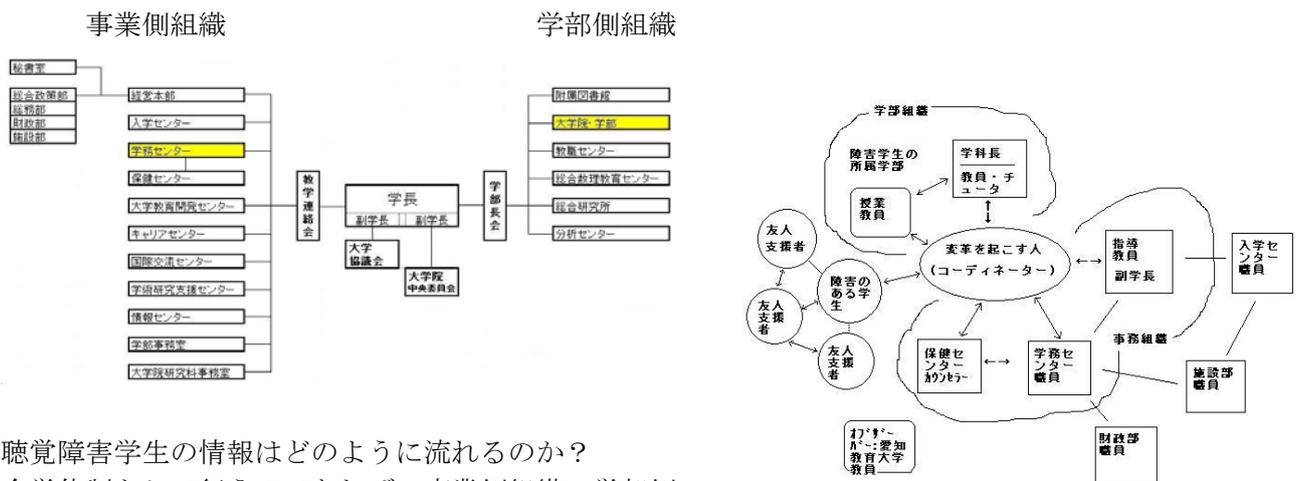
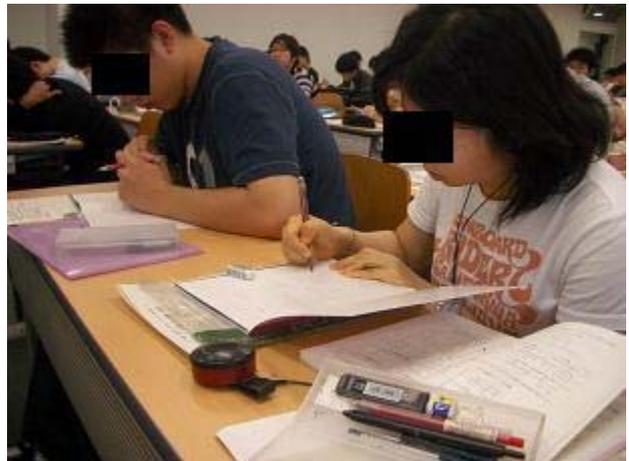
支援体制づくり

マネジメントを行う前段階で、以下の 5 点が重要です。

この 1 から 5 までの番号は調査や把握のための優先順位にもなっています。

- ①組織(つながり構造を含む)の把握
- ②各組織のキーマンの把握
- ③コーディネータ配置
- ④支援拠点
- ⑤予算的措置

**支援体制づくりでの組織マネジメントは
走りながら（実行しながら）考える！**



聴覚障害学生情報はどのように流れるのか？
全学体制として行うのであれば、事業側組織、学部側組織との風通しはどうか？

問い合わせ先

元 名城大学大学院 大学・学校づくり研究科 田中芳則 連絡先 (E-mail: ZAP10256@nifty.com)